

平成27年度 あわら市の 予算

問合せ
財政課
☎73,8008

市長の任期満了に伴う骨格予算

平成27年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ133億4000万円、前年度と比較して10億円（7.0%）の減となりました。

これは、金津雲雀ヶ丘療養老人ホーム改築事業や幼保一元化に伴う保育所改修事業、中央公民館および湯のまち公民館改修事業などの大型事業が完了したことに加え、市長の任期が満了することに伴い、新規事業については、原則計上しないこととしたためです。

なお、6月議会定例会において、新規事業を盛り込んだ補正予算を提出する予定です。

市の貯金

— 財政調整基金

市の貯金である財政調整基金は、合併当初の平成15年度末には5億4507万円でしたが、平成26年度から合併による優遇措置が縮小されることを踏まえて、これまで積極的な積み立てを行ってきました。平成26年度末には28億400万円となる見込みです。

市の借金

— 市債残高

市の借金である市債は、平成26年度末で約180億円（前年度比約5億円の増）となる見込みです。これは、金津雲雀ヶ丘療養老人ホーム改築事業などの借入れによるものです。市債は償還額の一部または全部が交付税に算入される借入れ（合併特例債など）を活用しています。

各会計の当初予算額（合計 209億4483万円）

一般会計 133億4000万円

市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計

特別会計 36億8050万円

保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。

国民健康保険特別会計	33億7520万円
後期高齢者医療特別会計	2億9650万円
産業団地整備事業特別会計	380万円
農業者労働災害共済特別会計	500万円

企業会計 37億1159万円

一般の会社と同じように、独立の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計

水道事業会計	10億6902万円
工業用水道事業会計	1130万円
公共下水道事業会計	25億2364万円
農業集落排水事業会計	1億763万円

芦原温泉上水道財産区水道事業会計 2億1274万円

旧芦原町内の特定区域（財産区）の水道事業にかかる会計

主な事業の予算額

県防災情報ネットワーク再整備
工事負担金
1670万円

認定こども園5歳児無料化事業
4622万円（相当）

芦原温泉駅周辺整備事業
1億5000万円

あわら温泉開湯130周年祭
事業補助金
1000万円

中学校空調設備整備工事
1億1700万円

家計簿でチェック

今年度の一般会計当初予算を年収約445万円（3000分の1）の家庭に置き換えて家計簿にしました。

1年間の収入合計 約445万円		1年間の支出合計 約445万円	
基本給与（市税）	141万 8955円	食費（人件費）	72万 2085円
諸手当（分担金及び負担金）	12万 33円	医療費（扶助費）	88万 7765円
副業収入（使用料及び手数料）	5万 5252円	光熱水費、消耗品費など（物件費）	64万 6141円
預金の取り崩し（繰入金）	18万 9115円	子どもへの仕送りなど（補助費等）	94万 823円
臨時収入など（寄付金、財産収入など）	16万 5359円	家や車などの修繕費（維持補修費）	1万 4317円
親からの援助（交付税、国県補助金など）	213万 7920円	家などの増改築（普通建設事業費）	38万 1221円
銀行からの借入れ（市債）	36万 33円	借金返済（公債費）	46万 3237円
貯金残高（財政調整基金など）	93万円	貯金（積立金）	1498円
借金残高（市債残高）	600万円	その他（予備費、災害復旧費、繰入金など）	38万 9580円

収入をみると、親からの援助に頼っている割合が大きく、銀行からの借入れも毎年行っています。今後は、親からの仕送りや借入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めるとともに、支出を抑えていくことが必要です。

支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が約半分を占めています。

これまで、食費や光熱水費、消耗品費などを切り詰めてやりくりしてきましたが、今後もより一層の努力が必要です。

一般会計当初予算規模 133億4000万円

